



SPECIAL
INTERVIEW



Man of Inventive Ideas

写真：Shutterstock/アフロ

家電界の革命児が大学設立！

ジェームズ・ダイソン

「理系女子をもっと増やしたい」

吸引力が落ちないサイクロン掃除機や羽根のない扇風機など、数々の革新的な家電を開発しているダイソン。そのダイソンの創業者であるジェームズ・ダイソン氏が、エンジニアを養成する工科大学を設立した。この背景には、英国における深刻なエンジニア不足の問題があるが、ダイソン氏はこの問題を解決するために、また、可能性ある人材の未来を切り開くために、従来の大学とは異なる革新的な大学を作り上げた。ダイソン氏が、大学設立の思いや大学の強みなどについて語った。

■ ジェームズ・ダイソン

ダイソン社の創業者兼チーフエンジニア。英国王立美術大学で家具とインテリアのデザインを学んだ後、エンジニアに。1978年、製材工場の木くずと空気を分離するサイクロン装置をヒントに5年と5127台の試作品を経て世界初のサイクロン掃除機の開発に成功。同国の経済への多大な貢献によりナイトの爵位を授かる。2017年まで英国王立美術大学で学長を務めたほか、多摩美術大学で客員教授も務めている。1947年、イングランド、ノーフォーク州生まれ。



⑧ 卒業生の半数が女性となるように

Sir James Dyson has already revolutionized the market for vacuum cleaners and hand dryers. Now, the inventor has his sights on the labor market. He wants to get more women involved in science and engineering and has set up a university with a target of 50 percent female graduates. The university currently has just 33 places, and only nine of them are women.

Interviewer This idea of getting more women into engineering and... and technology generally goes back decades. I can remember talking to...to Labour governments about it. What's the real barrier? Is it the confidence of the women or the opportunities as you're offering at the university?

James Dyson I don't know. But all...all I do know is we've been working with Bath schools—six Bath schools—and we've trebled the number of girls who want to take design and technology, and we have 15 times the national average

inventive:
《タイトル》創意に富む、発明の才のある
revolutionize:
～を変革する、～に革命をもたらし
vacuum cleaner:
掃除機
inventor:
考案者、発明者
have one's sights on:
～に照準を合わせている、狙いを定めている
set up:
～を設立する
university:
▶ここでは The Dyson Institute of Engineering and Technology のこと。

go back:
〈物事が〉(ある期間から)存在する
Labour government:
《英》労働党政権
barrier:
障害、障壁
confidence:
自信
opportunity:
機会

Bath:
バース ▶イングランド南西部の都市。
treble:
～を3倍にする
take:
(科目を)取る、履修する
design:
デザイン学
times:
…倍

サー・ジェームズ・ダイソンはすでに、電気掃除機とハンドドライヤーの市場に革命を起こしました。今、この発明者は労働市場に注目しています。彼は科学と工学に関わる女性を増やしたいと考えており、卒業生の半数が女性となることを目標に掲げて(英マームズベリーに)大学を設立しました。現在その大学に籍を持つのはわずか33人で、そのうち女性は9人しかいません。

インタビュー 工学やテクノロジー一般に携わる女性を増やそうという考えは数十年前からあります。私もこれについて歴代の労働党政権と話したことを記憶しています。真の障壁とは何でしょうか。女性たちの自信(のなさ)の問題、あるいはあなたの大学で提供されているような機会(が他にあまりない)という問題でしょうか。

ジェームズ・ダイソン さあ、どうでしょう。でも、わかっているのは、私たちはバースの学校——バースの六つの学校——と提携し、デザインとテクノロジーを専攻したいと望む女子の数を3倍にしたということ、そしてAレベルの課程でデザイン